

## 令和2年度 第1回山北町総合教育会議 議事録

1 開催日時 令和2年11月20日(金)

開会：10時30分 閉会：11時30分

2 開催場所 山北町役場401会議室

3 出席者(敬称略)

(1) 委員 6名

山北町長 湯川 裕司

山北町教育委員会教育長 石田 浩二

山北町教育委員会教育長職務代理者 野地 泰次

山北町教育委員会委員 小菅 正子

山北町教育委員会委員 今村 敏雄

山北町教育委員会委員 佐藤 直美

(2) 事務局 2名

参事兼企画政策課長 瀬戸 靖

企画政策課副主幹 伊東 琢磨

(3) オブザーバー 3名

学校教育課長 高橋 英治

生涯学習課長 松田 浩義

学校教育課副主幹 磯崎 雅史

4 傍聴者 1名

5 会議概要

1 開会 参事兼企画政策課長

2 町長あいさつ 湯川町長

3 教育長あいさつ 石田教育長

#### 4 議 題

##### (1) GIGA スクール (オンライン学習) について

湯川町長	それでは、議題 (1) GIGA スクール (オンライン学習) について、石田教育長より説明をお願いします。
石田教育長	国ではGIGA スクールを推進しており、町も関連予算を計上している。現在の状況として、令和3年1月には1人1台パソコンの導入を予定している。また、今年度の休業期間中に三保小学校においてはZoomによる授業を、川村小学校、山北中学校においては動画配信といった形でオンライン学習を行っている。 詳しくは、担当から説明をさせていただく。
磯崎副主幹	GIGA スクール構想については、机や椅子と同じように児童・生徒一人一人に端末を整備し、校内ネットワークも整備した中で多様な個性、それぞれの能力に応じた授業を進めるというもの。 山北町では小学生にはタブレット型、中学生にはノート型の端末を整備する予定である。「Google for Education」という無料のサービスを活用し、オンライン学習の環境を整備している。 令和3年1月中には端末の整備が完了する予定で、令和3年4月から本格的な運用を目指している。端末が整備されることで、教師同士の情報の共有なども容易になり、働き方改革にもつながっていくものと考えている。 また、電子黒板の整備についても、小学校は高学年のみ、中学校は全学年に整備する予定である。 なお、指導する先生方の負担の軽減については、支援員を配置することを検討している。来年度以降も先生方の意見を伺いながら、より良い環境を整えていきたいと考えている。
野地委員	今年度は教科書の変更があり、すでに教職員に負担がかかっている中で、さらに電子機器の扱いを学ばなければいけないというのは大きなストレスであると思う。さらに、パソコン授業の導入によってベテラン職員、特に女性の退職が相次いだという現状がある。是非、支援員の配置といった手厚い支援を講じていただき、授業に専念できる環境を整備していただきたいと思う。

- 石田教育長 小学校に英語教育を導入した際も、山北町ではALT をかなり早い段階から導入し、スムーズに対応ができたという背景がある。
- 日常的に相談できる人がいるというのは非常に心強いと思うので、そういった環境を整えられれば良いと思う。
- 今村委員 GIGA スクールが導入されて授業の形態も大きく変わると思う。コロナ禍で授業参観などもほとんどない中で、どのような授業を行っているか保護者にも見える形で理解してもらえた方が良いのではないかと。
- 石田教育長 今年度は入学式後にすぐ休業となってしまったので、学校紹介の動画を配信した。そういう形も考えられると思う。
- 湯川町長 職員が圏域内で異動するとなった場合に、新たな環境でもデジタル機器を用いた指導をすぐに始めなければならないと考えるが、近隣市町において機器やソフトに互換性はあるのか。
- 磯崎副主幹 松田町と真鶴町は iPad を整備しており機器は異なるが、「Google for Education」はどの環境からも利用できる。
- 小菅委員 授業のイメージとして、選択授業のように一人一人が異なる教材を使うということなのか。
- 磯崎副主幹 例えば、ある問題を端末上で出題すると、一人一人の回答状況がリアルタイムで把握できるので、分からない生徒が多い部分について集中的に指導をするといった方法や、野外活動において写真や動画を撮って、それを端末上で共有し発表を行うなどという方法も考えられる。今までと学習内容は共通するが、方法が変わるというもの。
- インターネットがつながっていれば、家から回答することも出来るため、宿題の配信も可能である。
- 生徒にはアカウントを作ってもらい学年が変わっても引き継いで使ってもらい自身の学習の記録が残せるような形を考えている。
- 小菅委員 職員同士でもデジタル機器に対する得意不得意があり指導に差が生まれやすい。職員にとっては大きなストレスになるので手厚い支援が必要と考える。
- 今村委員 図工の時間など、実際にモノを見て書くという時間も必要ではないかと思う。

デジタルだけの授業になるというのも抵抗感があり、デジタルとアナログのバランスを学校にも見極めていただきたい。

野地委員

五感に訴えないものの中で人間の成長は考えられないし、コミュニケーション能力の向上が学習要領でも強く謳われている。それらを補っていくのが学校であり、学校の行事であると思う。デジタル教育ばかりが先行しては健全な成長は望めない。

佐藤委員

機械の操作だけを覚え、例えば子供たちが漢字なんて覚える必要ないじゃないかと考えてしまうのではないか。視覚に頼るものばかりが増え、体感できるものが少なくなる。

また、家庭における学習の面でも、保護者のデジタル機器に対する知識によって差が生まれるのではないか。

磯崎副主幹

機器については少しでも多く手書きで学習ができるようなものを選んでいく。先生方の意見も取り入れながら学習方法については考えていきたい。

湯川町長

ドイツの取り組みで生徒自身がデジタル機器を使って1週間の予定を親に配信するというものを聞いたことがある。このように保護者を巻き込んでいく必要もあるのではないか。

佐藤委員

親もアカウントを作って先生からの配信を見られるような仕組みもあるのではないか。

## (2) コロナ禍における経済的支援について

湯川町長

次に、議題(2) コロナ禍における経済的支援について、石田教育長より説明をお願いします。

石田教育長

現在の感染状況をみると来年4月からの状況もわからない中で、経済的支援についても早急な課題ではないかと思う。保護者への支援や学校設備に関する補助ということも含めてご意見をいただきたい。

佐藤委員

川村小学校では密を避けるよう、対策を検討していただきたい。

野地委員

コロナ禍での生活苦を理由として、女性の自殺者が増えていると聞く。

飲食業など新型コロナウイルスの影響が強い業種に就いている保護者の就労

状況はどのように把握するのか。

事務局

町内の事業者や個人事業者の状況については、町商工会や金融機関などからの情報により、ある程度は把握している。一方で、町外の企業に勤められている方など個別の状況は把握が難しいところである。

湯川町長

補助金等による支援だけでなく、雇用を創出するという形でのサポートを検討できたらと思う。困窮している保護者が悩みを相談してくれるかという問題もあり、どのように情報を集めるかが課題であると考えている。

佐藤委員

新型コロナウイルスの関係で町民の相談窓口はあるのか。

事務局

総合的な窓口は保険健康課、企業や個人事業者の相談は商工観光課が窓口となっている。現在のところ、生活困窮の相談は多くないと聞いている。

佐藤委員

精神的に弱っているときは窓口を調べてまで相談をしようとは思わないかもしれない。広報やチラシで周知をした方が良いと思う。

事務局

ご意見を担当課に伝えさせていただき、対応を考えていきたい。

今村委員

乳幼児を育てている世帯としては、町の保健師が非常によく関わってくださっていて、相談なども親身に聞いてくれるのはありがたいと感じている。

湯川町長

奨学金制度についてはどうか。

石田教育長

貸付ということもあり、利用者が少ない。どのような形が良いのか見直す必要があると考えている。

湯川町長

奨学金ではなく、新型コロナウイルスの支援という形で周知すれば興味を持つ方も出てくるかもしれない。返済期限に猶予を設けるなど検討してはどうか。

## 5 その他

松田生涯学習  
課長

11月1日から始まった電子図書館の進捗状況について、事業開始3日で登録者100人を超え、順調に増えている。

また、学校とも協力し、児童・生徒に登録を呼びかけている。幼稚園・保育園にも保護者向けに登録を呼びかけているところである。

事務局

次回の会議日程について、2月の中下旬を予定している。具体的には改めて調整し、ご連絡させていただく。

6 閉 会 参事兼企画政策課長

以 上